

小田地区 防災まちづくり懇談会 ニュース 令和2年10月発行

「町会別防災まちづくり懇談会」を開催しました！

【今年度の防災まちづくり懇談会について】

川崎市では、昨年度に引き続き地区の皆様と防災について話し合う場として、防災まちづくり懇談会を開催しています。今年度は、新型コロナウイルスの感染予防の観点から町内会単位で開催していますが、感染リスクを考慮しながら、開催規模についても柔軟に対応していきます。

「町会別防災まちづくり懇談会(1)」概要

開催日時：8月～9月に各役員会等に合わせて実施

開催町会：小田1丁目町内会(9/1)、小田中央町内会(9/5)  
小田3丁目町内会(9/8)、小田五六町内会(9/25)、  
浅田1・2丁目町内会(8/22、9/26)

場 所：各町内会館

内 容：① 密集市街地とは  
② 小田周辺地区での取組  
③ 昨年度実施した懇談会の振り返り  
④ 意見交換



会場の様子

① 密集市街地とは

【特徴】

- 老朽木造住宅が広範囲に密集して存在
- 道路が狭く、公園等が少ない

【大地震時等の問題点】

建物の出火、倒壊の危険性が高く消火活動が遅れて広範囲で延焼する可能性が高い。

② 小田周辺地区での取組

小田周辺地区では、主に3つの取組を行っています。

- ・補助金等の交付による事業推進の取組
- ・防災空地を確保する取組
- ・防災意識の醸成を図る取組

③ 昨年度実施した懇談会の振り返り

昨年度 の取組 状況	第1回	小田地区の現状について	5/23
	まち歩き	小田地区を実際に歩いてみる	6/22
	第2回	小田地区の実態について	7/17
	第3回	まちづくりの方向性について	9/12
	第4回	地域の将来に向けた身近なまちづくりについて	11/13
視察会	他都市の先行事例を視察	2/13	

【昨年度の懇談会で出た小田地区全体での課題】

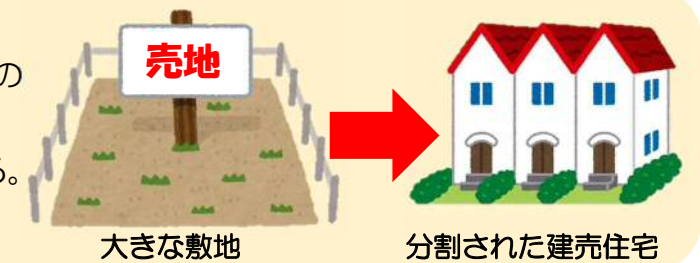
- 建物について
  - ・老朽化の進んだ戸建や共同住宅が多く、管理不全の建物があるため、倒壊や燃え広がり危険がある。
- 道路について
  - ・狭い道での相互通行や一方通行が多く緊急車両が入れない。
  - ・袋小路が多く、火災時に避難が遅れる。
- 広場について
  - ・一時避難に使用できる公園や広場が少ない。

④意見交換(各町内会から出た主な意見)

昨年度実施した懇談会の振り返りと小田地区全体での課題や各町内会の現況について説明を行い、ご自身が住んでいる町内会でも同じような課題があるか、皆さんにお聞きしました。ニュースでは参加者の意見を抜粋して項目ごとにご紹介します。

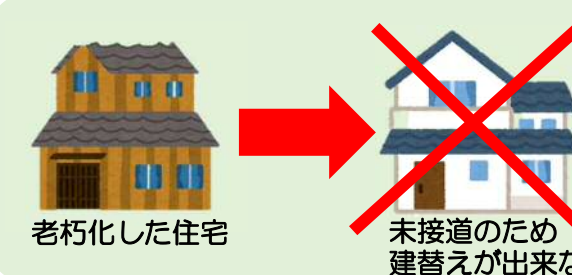
【建物について】

- ・大きな敷地を分割しにくくする規制ができるのであれば実現できるとよい。
- ・空家、空地があり、利用されていないものがある。所有者への働きかけが必要。



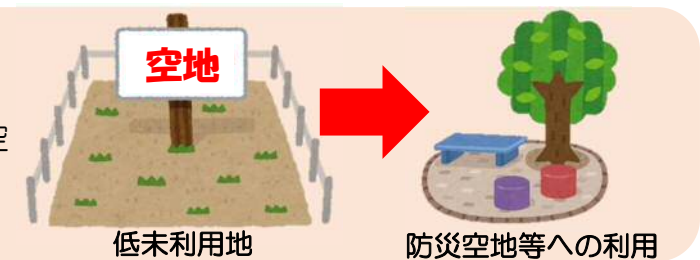
【道路について】

- ・道路条件が悪く、再建をあきらめるケースがある。
- ・新築等をする際に拡幅の義務がある道で拡幅後に再びブロック塀等を建てているところがある。
- ・狭い道路には隅切りなどを作って欲しい。



【公園・広場について】

- ・公園が少ないので設置をして欲しい。
- ・防災空地の整備も進めて欲しいので、空家や空地の情報があれば市と共有をしていきたい。



【その他】

- ・市の補助制度を活用して、複数の老朽化した木造賃貸住宅等を共同化するのは良いが進め方がわからない。
- ・市営住宅等を密集改善に活用出来ないか。
- ・補助金の制度や懇談会で出た意見などの周知の方法に工夫が必要。



次回の懇談会について

昨年度までの防災まちづくり懇談会や8～9月に行った町会別防災まちづくり懇談会(1)で出た課題を大きく2つのテーマに絞り、11月と12月に分けてそれぞれについて掘り下げていきます。

【道路・公園について】

- ・道路の幅員や配置についての考え方
- ・道路や公園の整備方法について
- ・道路拡幅整備等の他都市の事例紹介

【建物について】

- ・敷地の小割対応について
- ・空家への対応について
- ・共同建替えについて